

全国の教会・伝道所の皆様へ

主イエス・キリストの御名を賛美します。

皆様、広島の大規模土砂災害にあたっては、犠牲者を悼み、ご家族の悲しみをおぼえと  
共に、なお行方不明の方や、避難しておられる方に心を寄せて祈っておられることと思います。

この8月22～23日、広島で行われた全国壮年大会におきましても、祈りを合わせると共に、その被災の状況について  
広島教会の播磨聡牧師による会場でのアナウンスをはじめ、地元の幾人かの方から様々にうかがっております。

現在は、断続的に強い雨が降り続く中（8/22）、複数にわたる被災地域において、懸命な救助活動が行われているそ  
うです。土砂災害という性格上、甚大な犠牲者や被害が出た地域と以前とまったく変わらない普通の生活が続いてい  
る地域とがまだらに存在するという過酷な状況があるとのことです。

被災地地域の一つには、日本バプテスト同盟の広島平和教会が位置していますが、敷地内への土砂流入などがあつた  
ようです。また、教会員や関係者の方のお宅には、半壊などの被害が出ているところもあるようです。

被災地に対する今後の関わりは、広島市内の二つの教会グループによって、検討されていくだろうとのことです。

一つのグループは国際飢餓対策機構などと連携しながら、関わる方向が打ち出され、具体的な動き始められようとし  
ています。広島にあるバプテスト教会の方々は、今は、救助活動を見守りながら、自分たちに出来ることを主に祈り  
求めているというところだそうです。

連盟理事会ははじめ連盟事務所は、今後、被災地に近い教会からの要請や中国四国地方教会連合の要請などが行われま  
したら、それに応じて対応していくこととなっています。どうぞご了解ください。

最後になりましたが、全国の教会・伝道所におかれましては、24日（日）の礼拝に向けて、祈りを準備しておられる  
ことと思います。おもに下記のような事柄をおぼえて、引き続きお祈りくださればと思います。

<祈りの課題（例）>

1. 災害で大切な家族を失った方々、また依然として行方が分からない家族を捜し求めている方々をおぼえて
2. 救助活動に携わる警察・消防・自衛隊で働く方々をおぼえて
3. 住む家を失い、避難所生活を余儀なくされている方々をおぼえて
4. 安心や希望を失い、悲しみを与えられ、途方に暮れておられる方々をおぼえて
5. 日常生活の回復への道筋が主にあって整えられていきますように
6. 地元の教会の皆さんと祈りを合わせ、一つひとつの必要が満たされますように

どうぞよろしく願い申し上げます。

明日の全国の教会・伝道所の礼拝の上に主の御守りと御励ましがありますように心よりお祈り申し上げます。

主にありて

2014年8月23日

日本バプテスト連盟 宣教部長 野口哲哉